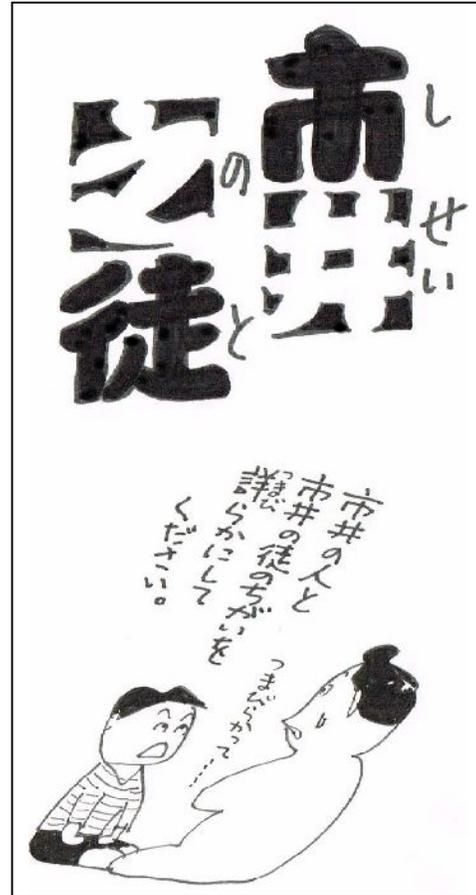


# 先週の回答



「市井って何ですか？」  
 「市井を知らないで、よくチャーシュー麺が食えるな。市井とは巷(ちまた)のことだ」  
 「巷って何ですか？」  
 「巷を知らないで、よくラーメン餃子ライスを食べるな。市井も巷もどっちも同じ、町中という意味だ」  
 「すると市井の徒というのは？」  
 「町中にいる、ごくふつーの人のことだ」  
 「すると市井の人と市井の徒は同じ意味なんですか？」  
 「おまえは『？』が、多すぎるんだよ」  
 「わからないから訊いているんです」  
 「人と徒は微妙にちがう」

「どう、微妙にちがうんですか？」  
 「おまえは『？教』の教徒か」  
 「教えてください」  
 「では、問題を出そう。次の□の中に、人か徒かどっちを入れるのが正しいか」  
 「どうぞ」  
 「①権力の座にある政治家は、常に市井の□の心を忘れないでほしい。」  
 「②昔は市井の□と嫌われた男だったが、今ではこの辺の名士だっというから驚きだよ。」  
 「③市井の□の政治批判こそ、意外に的確な指摘があるもんだ。」  
 「④うちの祖父は、若い頃家を飛び出し

て、市井の□と交わって博打、喧嘩に明けられていたそうだ。」  
 「①〜④までの□の中に人か徒か入れてみる」  
 「①は人。②は徒。③は人で④は徒」  
 「正解。市井の人はどこにでもいる、町中のふつーの人間。市井の徒は町中にいるならず者。人は人だが、徒は、むだ・無益、仲間とか、ともがら、やからなど若干のちがいがあがるが、今は厳密に使い分けはしないで、ほぼ同じように使われているようだ。わかったか？」



